

一般社団法人日本市場創造研究会
『市場創造研究』査読付論文・研究ノート執筆要項

2020年10月9日作成

1. 言語

投稿原稿は原則として日本語で記述するが、英語でも可とする。

2. 書式

- (1) 原稿は原則として Word 形式のデータ原稿とする。
- (2) 原稿は横書きとする。
- (3) 和文フォントは「**MSP 明朝(サイズ 10.5pt)**」を使用し、A4 版用紙 1 枚に 44 字× 38 行を目安とする。
英文フォントは「Times New Roman」を使用する。

3. 枚数

原稿の枚数は、上記に定められた書式で 10～15 枚程度(研究ノートの場合は 7～10 枚程度)を目安とする。ただし、いずれの場合も特に厳密な制約は設けない。

4. 体裁

- (1) 投稿者は『市場創造研究』投稿申込用紙に必要事項を記入し、原稿と共に提出する。
- (2) 原稿の 1 枚目には、タイトル、著者名、著者所属名、要旨、キーワードを順に記述する。
- (3) 要旨は原稿全体の内容をレビューしたもので、日本語400字程度とする。
- (4) キーワードは原稿全体の内容の特徴を示す用語であり、その数は5つ程度とする。
- (5) 原稿の本文は2枚目から開始し、それを1ページとして以下通し番号を付す。
註、参考文献、謝辞等がある場合は、本文の後ろに記す。

5. 一般的注意事項

- (1) 原稿本文は序論(問題提起、はじめに、など)、本論、結論(結び、結語、など)の順に記述する。
本論については章、節、項の区別を明確にし、それぞれ“1”、“1.2”、“1.2.3”のように番号をつける。
新しい章に入る場合には 2 行分の改行をし、節、項については 1 行分の改行をする。
- (2) 外国人名は原則英語で標記する。ただし、広く知られている名前、また印字の困難なものについてはこの限りではない。
- (3) 数式は別行に記し、末尾に通し番号をつける。文中で使用する場合には特殊記号を用いず、“a/b”、“exp(a/b)”などと標記する。
- (4) 註は当該文中に肩付き(あいうえお¹⁾、かきくけこ²⁾)をつけた上、原稿本文の後にまとめて 1)から番号順に記述する。
- (5) 図表にはそれぞれについて“図1”、“表1”、“図表1”のように通し番号とタイトルをつける。

6. 参考文献

(1) 参考文献は本文の後ろに一括して記載する。和文文献・英文文献ともに、第 1 著者の姓をアルファベット順に並べる。同一著者の場合は、出版年の早いものを先にする。以下に具体的な記載方法を示す。

1. ジャーナル論文・著者 1 名

<和文>

著者名(発行年)「論文タイトル」『雑誌名』 巻番号, ページ数.

論文タイトルは「」、雑誌タイトルは『』でくる。雑誌の巻ナンバーはイタリック体。

<英文>

著者名(発行年). 論文タイトル. 雑誌名, 巻番号, ページ数.

著者のファーストネームはイニシャルのみ。「姓、カンマ(,)、名前のイニシャル」の順。

論文タイトルは第一語だけ頭文字を大文字にする。雑誌名と巻番号はイタリック体。

2. ジャーナル論文・著者 2-7 名

<和文>

著者名 1, 著者名 2, …(発行年)「論文タイトル」『雑誌名』 巻番号, ページ数.

共著の場合は、著者名をカンマ(,)で区切る。

<英文>

2 名の場合 著者名 1, and 著者名 2(発行年). 論文タイトル. 雑誌名, 巻番号, ページ数.

3 名以上の場合 著者名 1, 著者名 2, …, and 著者名 x(発行年). ~.

第 2 著者以降も、「姓、カンマ(,)、名前のイニシャル」の順。

3. ジャーナル論文・著者 7 名以上

<英文>

著者名 1, 著者名 2, ~ 著者名 6, . . . 著者名 x(発行年). 論文タイトル. 雑誌名, 巻番号, ページ数.

第 2 著者以降も、「姓、カンマ(,)、名前のイニシャル」の順。

文中引用は (第 1 著者名 et al., 発行年)「et の前にカンマはなし、et、スペース、al、ピリオド(.)」。

et al. はイタリック体にしない。

4. ジャーナル論文・DOI の付与された論文(DOI:Digital object identifier)

<和文><英文>ともに

著者名 1, ~, ページ数. doi: ○○

DOI の付与された論文は、ページ数. doi: のあとに「<http://dx.doi.org/>」を省略して、以降のアドレスを記載する。

5. ジャーナル論文・DOI のないオンライン版の論文

<和文>

著者名 1, ~, ページ数. <URL>

<英文>

著者名 1, ~, ページ数. Retrieved from URL

DOI のないオンライン版の論文はジャーナルのホームページのアドレスを記載する。アクセス日は不要。

6. ジャーナル論文・DOI の付与された出版社による早期公開論文

<和文>

著者名 1, ~『雑誌名』 早期公開. doi: ○○

<英文>

著者名 1, ~雑誌名. Advance online publication. doi: ○○

早期公開論文を引用する場合は、本公開がされていないか最終確認をする。

7. ジャーナル論文・早期公開の近刊論文

出版年は「近刊/in press」とし、巻号、ページ数は不要。ジャーナルによる早期公開以外にも、著者が外部リポジトリなどで早期公開を行っているものについても同様。

8. 書籍

<和文>

著者名 (出版年)『書籍名』出版社名.

出版社の所在地は省略。

<英文>

著者名 (出版年). 書籍名. 出版社所在地: 出版社名.

出版社所在地は、アメリカは「都市名、カンマ(,)、州名、コロン(:)」、アメリカ以外は「都市名、カンマ(,)、
国名、コロン(:)」を書く。

出版社名は、The や Publishers 等を除いた簡潔な形で表記する。ただし、Books、Press は省略しない。

9. 書籍・電子版

書籍名のあとに、URLなどを記載する。記載方法はジャーナル論文と同様。

再販版の場合は、オリジナルの出版年も (Original work published 出版年) のように明記する。

本文中引用は (著者名, 出版年/再販年)とする。

10. 書籍・編著

<和文>

編著者名 編著(出版年)『書籍名』出版社名.

<英文>

編著者名 (Eds.). (出版年). 書籍名. 出版社所在地: 出版社名.

11. 書籍・監修

<和文>

著者名(出版年)『書籍名』(監修者名). 出版社名.

監修者はタイトルにつづけてカッコでくくる。

12. 書籍・第3版以降

<和文>

著者名(出版年)『書籍名』(第○版). 出版社名.

<英文>

著者名, Jr. (出版年). 書籍名 (○th ed). 出版社所在地: 出版社名.

著者名に Jr.と記載する。

13. 書籍・改訂版

書籍名のあとに(改訂版)もしくは(Rev. ed.)と記載する。

14. 書籍に所収された論文

<和文>

論文著者名(発行年)「論文タイトル」 書籍著者名『書籍名』 pp. 所収ページ, 出版社名.

所収ページあるいは章を記載する。

<英文>

論文著者名(発行年). 論文タイトル. In 書籍著者名, 書籍名 (pp.所収ページ). 出版社所在地:

出版社名.

“In”以下の書籍の著者名は「名、姓」の順。

15. 邦訳文献

英文文献記載のあとに、邦訳, とつづけて邦訳文献を記載する。

16. 英語以外の外国語文献・雑誌・書籍

タイトルの英訳がある場合、原語につづけてブラケット[]の中に入れて記載する。

17. 著者・編者のいない書籍

書籍タイトルを著者の位置におき、書籍タイトルの中の最初の単語を基準にアルファベット順に並べる。

本文中の引用箇所では、書籍タイトルの短縮形(短ければ全部)を、著者名の代わりとして用いる。

18. 私的な通信

参考文献リストには含めず、本文中でのみ引用する。

通信相手の苗字と名前のイニシャルを記載し、可能なかぎり正確な日付を上げる。

19. その他

上記以外は一一般的な記載方法に準じる。

(2) 原稿執筆に際して参考・引用した文献について本文中で参照する場合の記載方法は以下の通り。

※Publication Manual of the American Psychological Association. (6th ed.), pp. 174-179 より

1. 単一著者による単一の著作

- a. 高橋 (1998) によると
- b. (高橋, 1998)
- c. Walker (2000) compared reaction times
- d. In a recent study of reaction times (Walker, 2000)

2. 複数に著者による単一の著作

- a. 藤本・武石 (1984) によると
 - b. (藤本, 武石, 1984)
- 和文では、共著の場合、本文中では中点「・」、括弧の中ではカンマ(,)、で区切る。
- c. Nightlinger and Littlewood (1993) demonstrated
 - d. as has been shown (Jöreskog & Sörbom, 1989)
- 英文では、本文中は “&” ではなく “and” と表記することに注意

3. 著者複数名:3-5 名

- a. 新宅・許斐・柴田 (2000) によると(1 回目の引用)
- b. 新宅 他 (2000) によると(2 回目以降)
- c. 新宅 他によると(同じ段落ですでに a、b の形で引用されているとき)
- d. Wasserstein, Zappulla, Rosen, Gerstman, and Rock (1994) found(1 回目の引用)
- e. Wasserstein et al. (1994) found(2 回目以降)
- f. Wasserstein et al. found(同じ段落ですでに a、b の形で引用されているとき)

4. 著者複数名:6 名以上

- a. Wasserstein et al. (2005) found (first citation)
- b. Wasserstein et al. found (subsequent citations in text)

5. 著者名が同姓

- a. R. D. Luce (1959) and P. A. Luce (1986) also found
 - b. J. M. Goldberg and Neff (1961) and M. E. Goldberg and Wurtz (1972) studied
- 著者の姓名ともに書く。

6. 括弧内に二つ以上の引用

- a. (高橋, 1989a, 1989b)
 - b. (相田, 大塚, 1997; 平林, 赤尾, 1996; 生稲, 新宅, 1997; 矢田, 1996; 柳川, 桑山, 2000)
 - c. Past research (Edeline & Weinberg, 1991, 1993)
 - d. Past research (Gogel, 1984, 1990, in press)
 - e. Several studies (Balda, 1980; Kamil, 1988; Pepperberg & Funk, 1990)
 - f. (Minor, 2001; see also Adams, 1999; Storandt, 1997)
- カッコ内の複数の文献は、第 1 著者の姓でアルファベット順に並べる。

7. 文献の特定箇所の引用

- a. ヒューズ (1969, p. 34)
- b. (ヒューズ, 1969, pp. 50-52)
- c. (ヒューズ, 1969, pp. 49-50, 52-62)
- d. Cheek and Buss (1981, p. 332)
- e. (Cheek & Buss, 1981, pp. 332-334)
- f. Shimamura (1989, chap. 3)
- g. (Wayner, 2000, p. 64; 邦訳, p. 104)

以上